

身に付けさせたい力	低学年	中学年	高学年
	○自分自身の生活を振り返ったり、自分について考えたりすることができる。	○自分自身の生活を振り返り、よりよい自分の姿を考えることができる。	○主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことができる。



		低学年	中学年	高学年
児童の実態	1年	<p>○提示された絵を見ながら、資料の読み聞かせを真剣に聞くことができる。</p> <p>○「自分もこんなことがあった。」「あのときはこうだった。」と資料の主人公と自分を重ね合わせながら生活を振り返ることができる児童がいる。</p> <p>○道徳的価値を理解することができても、自分を客観視することが難しいため、行動に結び付かないことがある。</p>	<p>○道徳的価値について把握する展開前段では意見を言える児童が多く、資料を読み、内容を把握した上で登場人物の気持ちを考えることができる。</p> <p>○自分の経験を振り返り、道徳的価値について考えたことを書ける児童と、書けない児童の差がある。</p> <p>○道徳的価値について理解はしているが、実践には結びつかない児童もいる。</p>	<p>○資料を読み、自分だったらどうするか、登場人物の気持ちになって考えることはできるが、葛藤場面で本音を出し切れないことがある。また、発言する児童に偏りがある。</p> <p>○ねらいとした価値について自分たちの生活に照らし合わせて考えられる児童もいるが、実生活の行動に生かせていないので、実践力を育てていく必要がある。</p>
	2年	<p>○登場人物の気持ちを考えて積極的に発言するが、友達の意見に共感ができない児童もいる。</p> <p>○書く活動では、自分自身の出来事を振り返り、積極的に書く児童が多い。</p> <p>○教材文の登場人物の言動の良し悪しについては理解できるが、行動することは難しい。</p>	<p>○道徳的価値について把握する展開前段では意見を言える児童が多い。また、価値の一般化や自覚化の場面になると意見が言えない児童が多い。</p> <p>○それぞれの立場から多角的に考えられない児童が多い。</p> <p>○発表の前に自分の考えをまとめる時間をとったり、感想を書く時間を確保したりすることで、自分の思いや考えをもつことができる。</p>	<p>○資料を読み、人物の気持ちを考えながら読むことはできるが、発言する児童に偏りがある。</p> <p>○これまでの自分自身を振り返ったり、自分自身に置き換えて考えたりする場面になると、消極的になりがちである。</p>

	低学年	中学年	高学年
1年	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵を活用した資料の提示の仕方を工夫する。 ○自分の生活を振り返った時の発表の仕方について、具体的な場面を思い起こさせることで、価値への意識付けを行う。 ○同じ考えでも、自分の言葉で伝えられるようにハンドサインを活用する。 ○ワークシートを活用し、自分自身の振り返りに生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵を活用した資料の提示を工夫する。 ○既存の価値観を揺さぶるような発問を工夫する。 ○自分の経験や道徳的価値に向き合うために、書く時間を十分に確保する。 ○課題に対しての考えや自分の経験の振り返りについて、ペアやグループなどでの話し合いを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵などを活用し、資料に合った効果的な資料の提示の仕方を工夫する。 ○場面の経過や人物の心情の変化が分かるように板書を工夫する。 ○課題がもてるように発問を精選し、個々の価値の深まりや自己の生き方の振り返りができるようにする。 ○ワークシートを活用してじっくりと考えたことを記録する時間を確保する。 ○教科書やワークシートを活用して自分の生活を振り返り、価値に照らしてよりよい自分の姿を考えられるようにする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵を活用した効果的な資料提示をする。 ○気持ちを表す様々な言葉を掲示し、自身の言葉で表現しきれない心情の機微にも共感できるようにする。 ○教材文を理解したり、自己を振り返ったりするために、ペア、グループなどでの話し合いを設定する。 ○日常生活の中で今の自分について、適宜問いかけて、自分の行動を振り返る機会を増やす。 	<ul style="list-style-type: none"> ○場面の絵を活用した資料の提示の仕方を工夫する。 ○既存の価値観を揺さぶるような発問を工夫する。 ○様々な意見が明確になるような発問構成・板書を工夫する。 ○考える時間や書く時間を十分にとることで、自分の生活を振り返り、価値に迫ることができるようにする。 ○教師による説話を児童にとって身近な話題にし、共感をもてるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○行事などと絡めながら、その時の児童に合った資料を活用できるようにする。 ○人物の心情や、話し合いの過程が分かるように板書の仕方を工夫する。 ○書く時間を十分確保したり、机間指導をしながら声掛けをしたりすることで、価値に近づき、よりよい自分の姿を考えられるようにする。 ○本郷小徳の日を活用して自分の生活を振り返る機会を増やす。